

前より研究の
 道ありあり
 戦時中を渡
 けり置はす、心

趣旨

戦後ノ國氏ニ慰安ヲ與フルト同時ニ其ノ文化的生活ヲ向上セシメ且
總工業ノ發達ニ技術ノ向上ヲ圖ル爲至急重視放送ノ實現ヲ企圖シ左
ノ諸方策ヲ講ズルモノトス

二方

日本放送協會及電視機番ノ製作能力ヲ有スル技術優秀ナル製造會社
ヲシテ可及的ニ試驗放送ヲ實施セシムルモノトシ概ネ明年三月迄

二之カ實現ヲ圖ル

(四)試驗放送開始後一年乃至二年ノ準備ヲ以テ本放送ヲ開始ス

ハ電視放送費、越ニ必要ナル技術上其ノ他ノ重要事項ヲ調査審議スル爲

通德院内ニ電脱放送實施準備委員會ヲ設ク

石炭賣賣會社ノ有識者ヲ以テ之ヲ組織ス

納石 職員會ノ活動ト並行シ由來侍レバ百氏ノ愛護アル技術者ヲ求メニ派遣シ

電機技術ノ調査研究ヲ行ハシムル如ク指圖ス

裏面白紙